

# 熊野古道・大辺路

## 2011.4.8~10

いろんなことがあって、昨秋の古道歩きはお休み。

一年ぶりにJR周参見からJR紀伊姫を目指す。

4月8日	4月9日	4月10日
地下鉄平針 5:31	枯木灘すさみ 8:15	枯木灘すさみ 6:45
↓地下鉄鶴舞線		
地下鉄・JR鶴舞 5:47	JR周参見 8:47	JR周参見 7:09
6:00	↓JR	↓JR
↓JR中央線	JR見老津 8:57	JR田子 7:40
JR名古屋 6:07	↓  2日目 14.2km	↓  3日目 17.4km
7:10	JR田子 14:50	JR串本 16:14
↓JR のぞみ95号	↓JR	↓JR
JR新大阪 7:10	JR周参見 15:16	JR紀伊勝浦 17:02
7:35		17:09
↓JR オシャンロ-1号	国民宿舎 枯木灘すさみ 泊	↓JRワイドビュー南紀8号
JR周参見 10:32		名古屋 20:44
↓  1日目 10.8km		
JR見老津		

国民宿舎 枯木灘すさみ 泊



四月八日①

ダイヤ改正で朝一番の「くろしお」が「オーシャンアロー」になった。



① ほぼ1年ぶりの周参見駅から出発。



② 10:40 串の戸石碑群



④ 10:52 馬転坂を登る



⑥ 11:26 長井坂案内板



③ 10:50 生コン工場の中を通過



⑤ 11:06 大串峠



### 長井坂 (ながいさか)

長井坂は、周参見と見老津間を結び標高200m以上、全長4.5kmの大辺路街道の古道で、ほぼ東西にのび別名長柄坂とも呼ばれている。沿道には美しい自然林が残り、また素晴らしい熊野枯木滝海岸立自然公園を遠望できるポイントにも恵まれている。

※長井坂西登り口まで約4km



⑦ 11:27 西の庚申



⑨ 11:47 一里塚の松跡



⑩ 12:01 イルカ型の家 (一般の民家)



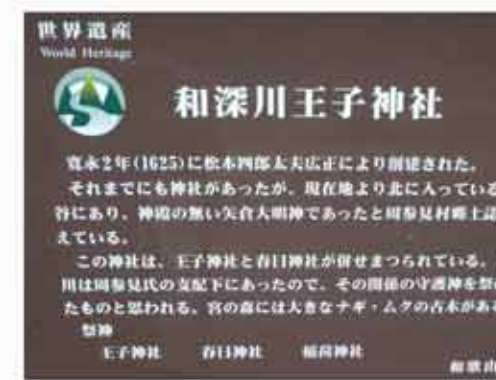
和深川王子神社で昼食



⑧ 11:40 タオの峠・境目石



⑪ 12:14 和深川王子神社



名古屋駅で買った「朝のおむすび弁当」



世界遺産  
World Heritage  
一里塚松跡  
昭和初期頃まで、大きな松の根幹が残っていたと伝えられている一里塚松跡である。仏取の柱松跡が和歌山から25km(約15分)の地点であるといわれている。  
江戸時代の文人の紀行文に、安房から同参見までの行程3里(12km)と述べている。  
柱松跡は安房からかなり過ぎた場所であり、この塚松跡も同参見からかなり過ぎた場所にあることから、これは柱松跡から3里ほどということだろうか。それにしても、その間の2つの一里塚跡は、同参見のどこにあったのだろうか何の記録も見当たらない。  
和歌山県

世界遺産  
World Heritage  
和深川王子神社  
寛永2年(1625)に依本四郎太夫広正により創建された。それまでも神社があったが、現在地より北に入っている宮の竹にあり、神階の無い矢倉大明神であった同参見村土着は伝えている。  
この神社は、王子神社と春日神社が併せまつられている。和深川は同参見氏の支配下にあったので、その御孫の守護神を祭祀したものと想われる。宮の森には大きなナギ・ムクノ古木がある。  
祭神  
王子神社 春日神社 稲荷神社  
和歌山県

四月八日②

①12:40 丸山の掘り割り



徳本上人の念仏碑



②12:40 長井坂和深川口



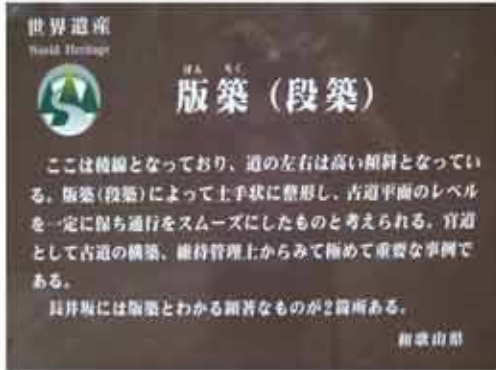
③13:10 尾根まで一気に登る



④13:14 見返り展望所への急坂



⑤13:29 段築



⑥13:42 見老津の海



⑦14:10 石の道標



⑧14:32 東登り口



14:39 いよいよ怪しげな空模様



⑨14:40 JR見老津駅



ホームの屋根に入るのを待っていたように雨



15:08 2分遅れのJR (何の案内もなし)



15:33 枯木灘すさみに到着



ゆっくり風呂に入り、夕食までビールを飲みながら過ごす。  
周参見に戻ると雨は降っていなかったで、結局傘は使わずに済んだ。これも日頃の「心掛け」か？  
タマネギは宿の人に引き取ってもらい、一件落着。

四月九日①

7:30 朝食



8:15 天気回復の予報を信じ、雨の中出発



8:47 JRで見老津へ



①9:00 雲は厚い



②9:05 六十六部廻国碑



③9:28 狭い急坂を下って浜へ下りる



しばらく浜歩き



④9:44 急坂を登る(ガイドブックとは別ルートだった)



⑤9:52 江須之川の庚申堂



⑥10:00 松の内地藏



⑦10:19 江住小学校校庭を横切る



⑧10:23 庚申塔



⑨10:25 みちびき地藏(道路工事のため移転したらしい)



⑩10:36 JR江住駅



⑪10:58 宇の平見の地藏



⑫11:08 中平見の地藏



⑬11:18 大平見の地藏



四月九日②

①11:35 里野の浜 (昼食)



周参見唯一のコンビニで買った弁当



12:00 出発 (六坊浜を回り込む)



②12:10 随所に石畳



③12:28 地藏



④12:32 木の原神社



⑤12:40 金比羅



⑥12:43 地藏



⑦12:59 JR和深駅



⑧13:20 地藏



⑨13:50 安指平見の大師堂 (一里塚跡も過ぎてしまってから引き返す)



⑩13:53 一里塚跡



⑪13:59 六字名号碑



⑫14:17 JR田子駅



14:50の列車を待つ



17:40 夕食



6:15 朝早く出発のため、朝食をおにぎり弁当にしてもらい、一食は昼か夜にまわすことにして、おにぎり&コーヒーの朝食。



6:45 出発



7:09 JRで田子へ



②7:50



周参見唯一(?)のコンビニ



①7:34 JR田子駅



石壁の造られたのは 街道整備の末端的にたまたま  
と見られるが 正確には不明である。工法は時代によって  
異なり 最終の序が行われているので 現在残っている  
のは、その最終の時代の技術が残っているのである。  
石壁は、方向地帯の中で、土砂の流出と、草の繁茂を防  
止することに目的であったと考えられる。道路部分を除く  
残り部分、周囲の山から降り出した石を、周囲の土砂と  
ように敷き詰められていた。  
大逆路の石壁の残存は少なく、当時の技術と  
造りかたの上で貴重な存在である。

③8:08 JR下のトンネルを潜る



④8:22 しばらく浜を歩く



⑥8:32 徳大明神社



⑧9:08 宝篋印塔



⑩9:50 地藏



⑫10:15 立江地藏



⑤8:27 徳本上人名号碑



⑦8:50 野なぎの道分地蔵



⑨9:40 A-coopでトイレ休憩 (ゆるキャラ?)



⑪10:10 有田浦と田並浦の境界標柱



⑬10:32 高揚平見の展望所からの眺め



①10:51 徳本上人六字名号碑



②10:53 貝岡の道標



③10:56 北向地藏



④11:02 妙典塔



⑤11:12 串本海中公園レストハウス (昼食)



11:41 駐車場入り口にある澤信坊の道標



⑥11:47 浜に下りる



⑦11:50 通り穴



⑧12:14 徳本上人名号碑



⑨12:22 トルコのお守り



⑩13:31 辻地藏



⑫14:03 澤信坊の道標地藏



⑭14:28 橋杭岩の神社



⑯15:13 JR串本駅



この後地道に入るが袋平見の集落跡までは行けたものの汐入橋へ下りる道がどうしても見つからず、引き返して迂回する。

展望所の為に木を切っていたおじさんが、「こんなとこ地元の人知らんのに、何で来たの」と聞く。ガイドブックに載っているとんでも不思議そう。おかげで、良い眺め。

⑪13:45 しりでの坂の展望所



⑬14:07 JR紀伊姫駅



⑮14:34 橋杭岩



駅前のオークワにフードコートでもあれば一体みと思ったが、何もないので、帰りの車中の食べ物を買って、駅の待合でビールを飲みながら、16:14の新宮行列車を待つ。紀伊勝浦でワイドビューに乗り換えて帰名。